

株式会社 松屋 2019年6月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-0.4	3.4
② 銀座店	-0.2	7.5
③ 浅草店	-1.9	-3.1

① 銀座本店	: 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
② 銀座店	: 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
③ 浅草店	: 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移 (単位:%)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
銀座本店	-1.9	6.9	2.0	4.2	5.2	1.9	-1.5	-1.4	4.9	2.0	2.2	-0.4
松屋銀座	-1.6	7.4	2.0	4.4	6.0	2.4	-1.2	-1.2	5.7	2.1	1.6	-0.2
松屋浅草	-5.6	0.7	1.3	2.7	-4.0	-4.3	-5.9	-5.7	-4.8	0.8	10.5	-1.9

3. 店舗別商況

銀座店	6月の銀座店は、婦人部門において、帽子・サングラスや傘等の夏雑貨が好調に推移、加えて、国内外のデザイナー等の高価格帯の婦人服、および、キャリア層に向けた婦人服も、28(金)からスタートいたしましたクリアランスセールも加勢し、売上高は前年を上回りました。一方、免税売上高につきましては、ラグジュアリーブランドを軸とした一般品とともに、化粧品に代表される消耗品の売上高が前年を下回りました(免税売上高前年比▲6.5%)。免税売上高は、店全体の売上高の25%程度を占めることにより、この前年割れの売上が全体を下振れさせる要素となりましたが、時計や宝飾品等の高額品、婦人靴・バッグ等の好調な売上が牽引したことで、店全体の売上高は僅かに前年を下回るにとどまりました(銀座店売上高前年比▲0.2%)。なお、免税売上高を除く国内のお客様の売上高は、今月も堅調に付き前年を上回りました(前年比+1.4%)。
浅草店	浅草店は、主力となる食品と化粧品の伸び悩みが要因となり、店全体としての売上高は前年に届きませんでした。

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	4.4	4.4
婦人服・洋品	-4.5	-4.9
子供服・洋品	-5.9	-5.9
呉服寝具他	-4.3	-2.9
衣料品計	-2.8	-2.9
身廻り品	-0.9	-0.9
雑貨	-1.4	-1.3
家具	27.3	26.9
家電	84.6	84.0
家庭用品	18.7	16.8
家庭用品計	26.6	25.6
食料品	-1.2	-0.6
食堂・喫茶	-6.4	-6.4
サービス、その他	31.6	33.4
合計	-0.4	-0.2

※「7月上報告」は、8/1(木)15時の開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部コーポレートコミュニケーション課
TEL(03)3248-8311 / FAX(03)5550-9639